こんにちは！事務局です

《理事会報告》

第1回理事会／令和2年5月22日（金）

Ⅰ 決議事項

1. 令和元年度事業結果（報告）について
2. 令和元年度決算（案）について
3. 令和元年度決算審査結果について（監査報告を含む）
4. 職能委員会委員・常任委員会委員・地区支部役員の選任について
5. 県が発動する外出自粛要請（特措法45条1項）に沿った滋賀県看護協会の在宅勤務に関する就業規程（案）の制定について

Ⅱ 報告事項

1. 新型コロナウイルス感染症対策に係る看護協会の対応について
2. 通常総会の開催方法などについて
3. 総会後の各種会議などについて
4. 日本看護協会理事会報告
5. 理事会等開催予定

第2回理事会／令和2年6月20日（土）

Ⅰ 決議事項

1. 役員の選定（案）について
2. 業務執行理事の業務分担（案）について

Ⅱ 報告事項

1. 令和2度理事会等地区支部長（地区理事）連携会議の年間予定について
   委員会の持ち方及び開催予定日
2. 令和2年度職能委員会の審議事項及び常任委員会の諮問事項と委員
3. 連絡事項

2020年度の継続・入会手続きはお済ですか？

会費納入がお済でない方は、会費の納入をお願いします。

- 口座振替の方は引き落としがされているかご確認ください。
- コンビニ・銀行への払込用紙がお手元にある方は速やかにお支払いをお願いします。

登録内容に変更はありませんか？

勤務先変更や転居、改姓等で会員情報に変更がある場合は、キャリナースで変更または会員情報変更届をご提出ください。

会員情報の変更はキャリナースが便利です。是非、ご利用ください。

会員専用ページ
キャリナース

《URL》
https://kaiin.nurse.or.jp/members/JNG000101

会員の声

▶新型コロナウイルス感染予防で職場だけではなくプライベートでのソーシャルディスタンスが最も大切と日々実感しています。（T.T）

▶COVID-19が流行しどの施設も感染対策の対応に大変かと思います。他施設の現状などなかなかわからないのですが、ナースレークでは色々な施設の情報が得られるのでありがたく読ませてもらっています。他施設の情報を読ませてもらいながら頑張ろうと元気をもらっています。（N.T）

編集後記

新型コロナウイルス感染症のため、新しい生活様式になり、恐る恐る生活を送る日々が続いておりますが、少しでも安心感や勇気をお届けできればと思い広報活動に取り組んでいます。皆様もご自愛ください。（M.I）

投稿大募集!!

「表紙の写真」「会員の声（ご意見・ご感想）」に投稿をお待ちしています。とりあげて欲しい内容でもけっこうです。広報委員が取材に行きます。ふるってご応募ください。詳しくはホームページ「委員会からのお知らせ」をクリック！
（次回発刊は10月上旬予定です）

広報紙「ナースレーク」
Nurse Lake
Vol.147
2020年7月
公益社団法人 滋賀県看護協会

CONTENTS

会長あいさつ／令和2年度重点事業……2
滋賀県看護協会における新型コロナウイルス感染症への対応…3
緊急！Voice 三日月知事……3
新型コロナウイルス感染症への各施設の対応……4～5
役員・委員・地区支部役員名簿／受賞表彰……6～7
Voice～これからの看護職に期待すること～……8
「忘れられない看護エピソード」を募集します！……8
医療安全通信／《活動報告》保健師職能委員会……9
ナースセンターだより／はたさぽ通信……10～11
こんにちは！事務局です／会員の声／編集後記……12

発行所●公益社団法人 滋賀県看護協会
発行責任者●会長 廣原惠子
〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目11番51号
TEL.077-564-6468 FAX.077-562-8998
http://shiga-kango.jp/
モバイルサイト
滋賀県看護協会 検索

Nursing now 看護の力で健康な社会を！

滋賀県看護協会会員数（令和2年6月28日現在）

保健師/	327人	助産師/	257人	合計 8,447人
看護師/	7,671人	准看護師/	192人	

令和2年度滋賀県看護協会総会を終えて

― 看護職の可能性を発揮できる大きな力に ―

公益社団法人滋賀県看護協会 会長　**廣原 惠子**

世界中を巻き込んだ新型コロナウイルス感染症対応において、保健・医療・福祉に従事する看護職として、それぞれの場所で最善を目指し尽力されてこられたことに感謝申し上げます。

今年度の総会は、去る6月20日㈯に感染拡大防止のために規模を縮小し、会員代表42名役員28名、職員9名、計79名の参加のもと、無事終えることが出来ました。

議決事項として、令和元年度決算報告及び監査報告、令和2年度改選役員及び推薦委員の選出、令和3年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出が行われました。この選出により、私自身も3期目となり今後の2年間、精一杯滋賀県看護協会会長としての役割を発揮し、さまざま事業に取り組んで参りたいと思います。報告事項として、昨年度の事業報告、今年度の重点事業及び事業計画及び予算が報告されました。（令和2年度重点事業及び事業計画は下記を参照）

ところで、今年は、「看護師・助産師の国際年」「ナイチンゲール生誕200年」「看護の日制定30周年」等記念すべき年です。ナイチンゲールの時代から、戦争や疫病等で傷つき苦難の状況にある人々への看護から発展し、この200年、看護は世紀を超えて時代と共に変遷し、日本の看護もさまざまな課題に挑み進化発展してきました。

かつて経験したことのない未知の新型コロナウイルス感染症への各施設での対応やその看護に総力挙げて乗り越えてきた経験は、看護職のもつ真価や可能性を更に発揮できる大きな力になっていくと確信しています。

そして、滋賀県看護協会「看護の将来ビジョン」達成に向けて、患者・利用者・住民主体に考え、多職種とも連携や協働し、更に「三方良し精神で看護の力で滋賀を元気に!」していきましょう。

令和2年度も会員の皆さまのより一層のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

Nursing now　看護の力で健康な社会を！

令和２年度重点事業ならびに事業計画

あらゆる場での看護の質向上のための看護実践能力の強化

❶三職能ラダーやマネジメントラダーの活用推進及び実践能力向上への支援
1）三職能ラダーを活用した教育計画に基づき教育を実施し、その評価を行う
2）病院看護管理者のマネジメントラダーを活用した今後の研修体系を検討する

❷看護基礎教育制度における課題解決に向けた取り組み
1）看護基礎教育や実習指導体制の課題解決に向けた教育機関看護代表者による検討を行う
2）基礎教育機関の専任教員対象の研修会を開催する
3）准看護師制度の課題解決に向け「看護チームにおける看護師・准看護師及び看護補助者の業務のあり方に関するガイドラン及び活用ガイド」の活用推進のために看護管理者会議を開催する

❸特定行為研修制度の活用推進
1）特定行為研修制度や修了看護師の実践報告等の研修会を開催する

❹診療所看護・介護施設看護の実践力向上への支援
1）地区支部内での診療所・介護施設看護師対象の交流会・研修会を開催する

❺災害看護や災害支援体制の強化
1）災害について・災害時の看護管理について研修会を開催する
2）各地区支部における災害時対応体制の検討および支援体制の構築に向けた検討を行う
3）「滋賀県看護協会災害時対応マニュアル」および「災害支援ナース受援マニュアル」を作成する

地域包括ケアを推進するための看護の機能強化及び看護職連携強化

❶地域包括ケアシステム推進に向けた支部活動や看護管理者のネットワークの強化
1）様々な場で活躍する看護職等のネットワークの強化を図ることにより、支部活動の充実を推進する
2）認定看護師や専門看護師等の専門性の高い看護職の協力により支部内の地域看護力向上を推進する
3）地域特性に応じた地域包括ケアフォーラムを開催する
4）看護管理者ネットワークの強化により、地域課題の解決に向け活動を行う（例えば、地区支部内の看護職の人材確保・定着や災害対応等）中で地域包括ケアシステムの推進を図る
5）「地域看護ネット」代表者による会議開催及びの取り組みを合同報告会で共有する

❷訪問看護支援センターの充実による訪問看護の機能強化
1）訪問看護職の資質向上・キャリアアップの充実を図るための系統的な研修体制を整える
2）訪問看護ステーションのOJT力の向上や初めて訪問看護に従事する看護師の実践力向上を図るため訪問看護の教育担当者養成研修を開催する
3）訪問看護ステーションの機能強化を図るため、管理力育成研修の開催を行うとともに、訪問看護ステーション多機能化に向けた検討会議を開催する

❸地域における安心・安全な出産環境を提供できる周産期医療に関わる看護職のネットワーク構築の推進
1）助産師職能の「産科診療所における助産師実践力向上支援に関する調査」の結果より課題を明確にする
2）滋賀県保健医療計画の「周産期医療」等の方向性を踏まえ、周産期医療施設（病院・産科診療所等）の看護管理者及び助産師などの合同研修会・交流会を開催する

看護職の確保定着のための働き続けられる職場環境づくりの推進

❶看護学生や未就業者に対する多様な職場への就業支援
1）看護専門学校・大学を訪問し、看護学生を対象に看護協会・ナースセンターの役割・卒業後の支援等について説明し、情報提供する
2）県内就職促進と働き続けられる職場選択のために、看護学生を対象にした就業ガイダンス交流会（多様な職場や職種を紹介する）を開催する
3）潜在看護職や未就業者を対象に、復職支援研修参加者増を図り、再就業を支援する

❷プラチナナースの就業継続への支援
1）定年退職前・退職後の看護職を対象に、今後の働き方に関心を持ってもらい就業意欲を高めることができるように、就業相談支援と交流会を開催する
2）年金等の給付と働き方について、社会保険労務士等による研修を1）と同時に開催する

❸チーム医療における他職種とのタスクシフティング（業務移管）やタスクシェアリング（業務分担）の実態把握と支援
1）他職種や看護補助者とのタスク・シフティング、シェアリングの実態調査より、県内の現状を把握し情報提供する
2）他職種等とのタスク・シフティング、シェアリングを推進するために好事例を紹介する

❹「看護職員の需給と確保策」に基づく看護職の確保定着推進
1）地域の実情に応じナースセンターと関係団体の更なる連携により就業者増を図る
2）教育機関・病院と連携し看護の魅力を積極的に伝え、地元に就業する学生の確保と新卒看護職員交流会の開催による定着促進を支援する

❺健康で安全な職場（ヘルシーワークプレイス）の推進
1）医療勤務環境改善支援センターと連携し、WLB取り組み施設訪問を継続する
2）パワーハラスメント調査結果から課題を抽出し、予防対策等の啓発を行う
3）訪問看護現場の「暴力・ハラスメント対応マニュアル」の周知及び活用を推進する
4）安心して働き続けられる職場環境づくりを支援するための研修会を実施する

組織力強化

❶「Nursing Nowキャンペーン」「看護の日制定30周年」記念事業や「まちの保健室」の取り組み推進により、県民への看護活動のピーアール強化
1）記念事業等様々な事業を実施する中で、キャンペーンを展開する
2）まちの保健室の開催時に、「Nursing Nowキャンペーン」を啓発する

❷滋賀県看護協会「看護の将来ビジョン」の周知
1）「看護の将来ビジョン」を基本として事業を展開するとともに、周知に努める
2）笑顔の写真による看護協会PR媒体の中でのPRの推進する

❸会員増加（入会率60%）をめざした取り組みを更に強化
1）各研修会や交流会等において「滋賀県看護協会のご案内」等のパンフレットを用いて繰り返し入会を勧める
2）卒業前の学生に対して看護協会活動やナースセンターの社会的役割や機能を啓発する

❹県民への健康づくりに関する情報発信
1）滋賀県民と看護職をつなぐ広報誌「かいつぶりのわ」第3号を発行する

❺在宅ケアセンター「みのり」の将来構想の検討
1）将来構想検討委員会を開催する

❻70周年記念事業（2022年）に向けた準備推進
1）記念事業準備委員会を開催し、記念事業開催に向けた準備を開始する

▶滋賀県看護協会における新型コロナウイルス感染症への対応◀

滋賀県での主な経過

2月4日に帰国者・接触者相談センター及び帰国者・接触者外来が設置され、その後、3月5日～6月18日までの期間に患者発生は101名です。6月末日現在、ほとんどが退院されています。新型コロナウイルス感染症は、今後2波3波も危惧され、これからも気を緩めず、皆さまの声を大切にして、皆様と共に「三方良し精神で看護の力で滋賀を元気に！」できるよう取り組んでいきたいと思います。

……《これまでの看護協会の取り組み》……

❶三日月知事へ要望書を提出（5月4日）
各病院の危険手当の実態を調査しその結果より各病院により違いがあることがわかった。危険手当の一律支給や対応した職員がホテル等に宿泊した場合の宿泊費補助に関しての要望書を提出し、支援するとの回答を頂いた。

❷滋賀県新型コロナウイルス感染症対策協議会に参画とその情報発信
協議会開催日：第1回 4月7日、第2回 5月4日、第3回 6月15日
- 感染防止物資の不足や看護基礎教育機関の実習ができないことへの対応、精神科患者・障害児への体制づくり、看護管理者対象の情報交換会の希望等意見を述べた。
- 協議会での情報を感染症指定・協力病院等の病院看護部長等に情報を発信した。

❸軽症者宿泊施設の運営を支援
1 潜在看護職に新型コロナ感染症対策への支援の呼びかけ
「eナースセンター」登録者732名にメール発信し、30名から連絡があった。
2 軽症者宿泊施設となったホテルピアザびわ湖への看護師派遣調整
5月11日から県の委託事業となり、5月17日～6月4日までの期間　勤務可能の連絡のあった看護職等8名の勤務調整・管理を行い、健康管理業務を支援した。
3 軽症者宿泊施設対応マニュアル見直しとまとめ
5月28日最後の療養者が退所され、その後片付けやマニュアル見直しやまとめを行った。

❹感染防御物品等の寄付物品の必要状況の調査と配布予定
日本看護協会からの感染防御物品の配布があり次第、順次各施設へ発送する予定である。

❺びわ湖放送「ナイチンゲール生誕200年テレビ企画」に生出演や看護職に向けたメッセージを発信
5月15日㈮ 19:45～ 10分程度会長が生出演し、看護の日や新型コロナウイルス感染症対応で活躍する看護職のPRを行った。また、看護の日に日本看護協会福井会長と会長からの看護職へのメッセージを発信した。

❻看護に係る調査の実施とまとめ
感染症指定・協力病院14病院とその他の病院43病院へ「新型コロナウイルス感染症対応に係る看護に関する調査」を実施し、今後に活かす予定である。

緊急！Voice

看護職の皆様へ

厳しい医療現場の最前線で、新型コロナウイルス感染症の対応をはじめとして、県民の命や健康を守るための活動に日々奮闘いただいている看護職の皆様に心から感謝申し上げます。

皆様それぞれに大切な御家族や個々の御事情を抱えておられる中で、県民一人ひとりの生老病死に寄り添い、使命感を持って看護に従事していただいていることを私たちは忘れてはならないと思っています。

本県としても、医療提供体制の強化や、医療現場の勤務環境改善を図っていくなど、皆様の身体的負担や不安を軽減するためにしっかりと取り組んでまいります。

新型コロナウイルスとの闘いは長丁場になると思われますが、一緒に、この難局を乗り越え、前に進んでいきましょう。

令和二年　七月

滋賀県知事　**三日月大造**

新型コロナウイルス感染症への各施設の対応

病院での取り組み①

病院の感染委員会から別にCOVID対策委員会を立ち上げ、感染対策の具体的取り決めや外来でのトリアージの方法の検討、発熱外来の取り組み、病棟の発熱者情報を対策医師へ情報提供し、定期的なラウンドとカンファレンスなどの取り組みを行いました。

水際での対策として、患者様全員に玄関口での体温測定、問診票の聞き取りをおこなっていました。医療材料が不足する中での防護具などの使用方法も決めていき、在庫状況のチェックも厳しく行っていました。一時期は部署によってはごみ袋から予防衣を作成し着用して使用してもらっていました。

面会制限も厳しくなったため、段階に応じて面会方法や患者さんのメンタルフォローなど検討する場面もありました。

病院での取り組み②

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、病院玄関前トリアージを4月から開始しました。来院者に体温測定や症状の確認を病院玄関でおこなっています。

トリアージの体制や、発熱外来診察室の確保、診療体制など多くの事案に、多職種が一丸となり取り組みました。患者様の反応を心配いたしましたが、「ご苦労様です。大変ですね。」と励ましの言葉をいただき、仕事への活力をもらっています。

平常の病院機能に早く戻ることを祈りつつ、今までの平穏な環境の大切さを改めて痛感しています。このような時にも力になるのは、やはり患者様の表情や言葉です。

患者に寄り添う看護の実践を、仲間と一緒ならがんばれると実感しています。

病院での取り組み③

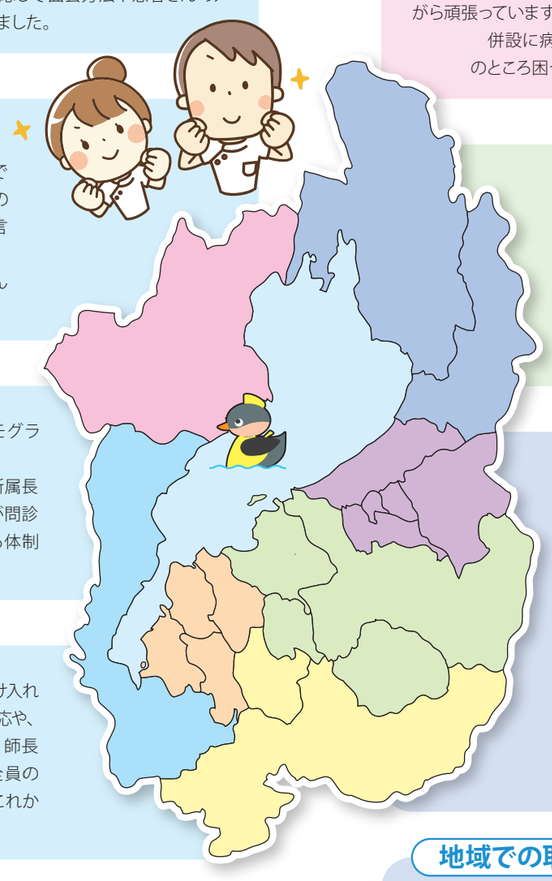
当院はコロナの受け入れはしておりませんが、発熱外来を開設し、早期発見と感染防止対策に努めています。県や厚労省からの通達の基準に随時合わせ、院内の診療の基準や職員の健康管理、入院患者の保護に努めています。

発熱外来の場所は施設の建物外に設置し患者待合は自家用車で対応しています。入院患者は面会禁止とし患者と家族にはご理解を頂いております。玄関にはサーモグラフィーを設置し発熱者のトリアージに努めています。

職員の健康チェックは厳しめの37度に設定して所属長が管理し、基準を超す場合は感染委員会の看護師が問診をし、診察に繋ぐか様子観察にするかの相談に乗る体制にしています。

病院での取り組み④

当院は、感染病棟はないので、最上階の病棟を休床中の3階病棟に移動し、最上階に感染対応病棟を新たに立ち上げました。病院決定からわずか4日で移動し、その後、感染管理認定看護師が中心となり、備品準備や、ゾーニングなどの施設整備を行い、使命感を持って病棟立ち上げに名乗りをあげてくれたスタッフに対する個別指導を行ってくれました。7日後には、看護師14名で、2人夜勤の受け入れ体制が整備出来ました。急な病棟移動への柔軟な対応や、新病棟スタッフをまとめ管理した看護管理者の力や、師長主任スタッフの不在時の役割を代行したスタッフ全員のチームワークで第1波を乗り越えられたと思います。これからは、当院は協力病院として第2波に備えていきます。



看護小規模多機能型居宅介護事業所での取り組み

看護小規模多機能型居宅介護事業と訪問看護事業を併せて運営しています。現在まで、職員・利用者さんの感染はありません。

訪問事業は「訪問先」での厳重注意ですが、看多機事業は「事業所内」での利用者さんの状態変化のリスクが加わり、所内全体の消毒を日中2～3回実施したりして普段の労力の倍以上の負担となっています。訪問看護師も看多機職員であるので、送迎はもちろん所内の消毒等も一緒に行っており、疲弊も充分ありますが体調を壊すことなく緊張しながら頑張っています。

併設に病院があるので、マスクやアルコール等の補充には今のところ困っていませんが、看多機事業だけはアルコールや次亜塩素酸ナトリウムは独自に追加購入をしなければならない状況です。

看多機内では、「通い」「泊まり」「訪問（看護・介護）」の全てにおいて（入浴介助以外）、マスク+ゴーグルは着用し、ユニホームに「ウイルス除去・抗菌スプレー」を噴霧して関わるように指導しています。利用者さんにも手洗い・うがいの励行をし、できない方にはアルコールジェルを職員が塗り込むようにしたり、発熱等の症状の早期発見に努めています。また、今回の新型コロナウイルスの感染対策として、独自の「方向性」や「マニュアル」も作成し、利用者・御家族へも文書を渡しました。

今後、第2波・第3波がくることも頭におきながら引き続き感染予防に努めていきたいと思います。

高齢者介護施設での取り組み

高齢者介護施設は、加齢に伴い感染に対する抵抗力が低下している入所者や認知機能が低下していることにより感染対策の協力が難しい入所者が生活しています。

高齢者介護施設は「生活の場」ですが、その中で、3密・ソーシャルディスタンスに配慮した、食事・娯楽時の配置場所の工夫をしています。

テーブルの配置において、対面は避け、広い空間を利用し入所者をグループに分け、人が集まった際には基本となる換気に配慮しています。

さらに、高齢者の体調管理においては、毎日の検温や健康チェックを行い早期発見と早期対応を行っています。看護職員だけでなく介護職員・歯科衛生士・機能訓練士等のチーム一丸となったケアに取り組んでいます。

地域での取り組み①

保健所における新型コロナウイルスへの対応は、2月に始まり、3月～4月にピークを迎えました。この間、住民さんからの電話相談や医療機関から紹介された患者さんの帰国者・接触者外来への受診調整、発生届があった場合の疫学調査、検体搬送などに追われ、怒涛のような日々でした。

検査の結果、陽性と判明した患者さんやそのご家族は、思いもよらない感染により、不安や悲しみでいっぱいになられます。でも、それ以上に患者さんを苦しめるのは、周囲の人々やSNS等での心ない言葉等だと痛感することが度々ありました。

患者さんは被害者なのに、誰もが感染する可能性があるのに、どうして？ と思います。

日本赤十字社が発行された「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう～負のスパイラルを断ち切るために～」の中で、『この感染症の怖さは、感染症についての「不安」と不安からくる「差別や偏見」そのことが、自分が感染したかもしれないと思った時に「受診をためらい、受診を遅らせる」という負のスパイラルとなり、感染を広げていくこと』と書かれていました。

これに打ち勝つためにも『確かな情報を拡める』ことが公衆衛生の第1線で患者さんと接している保健所保健師の役割だと感じています。

コロナとの戦いはまだ続きますが、『人への敬意と思いやり』を忘れずがんばりたいです。

地域での取り組み②

地域の現場では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、乳幼児健診や相談事業および特定健診、がん検診などの成人の健診業務、高齢者部門の介護予防事業や地域でのふれあいサロンをはじめとする各団体の活動なども軒並み中止や延期となり、また子どもから高齢者まで多くの住民さんが、自宅で不安な時間を過ごす状況が続きました。

特に乳児健診の対象者には電話をかけて母子ともの近況を確認し、さらに健診代替えの相談会を設け、安心して子育てに向き合えるよう必要な情報を提供し育児の相談等に対応してきました。

高齢者についても介護予防事業等や地域サロンのような通いの場の活動が休止となり、多くの高齢者に生活の不活発による心身機能の低下が懸念されていました。そこで、介護予防の取組みを自宅でも行えるように「生活習慣チェックカレンダー」を作成しました。1日毎に生活の中で会話・体操・散歩ができたら○印をつけ「しりとり」を毎日続けていけるような内容で、他にも頑張ったこと・嬉しかったことも記録するものです。電話をかけたり、そのカレンダーを1週間毎にやり取りする中で、心身の健康状態等を把握しました。

このような支援を通して、実際に顔を合わせられなくても人と人の交流が大切であることを痛感しました。また、感染症対策の周知だけでなく、環境の変化が高齢者に与える影響を考慮し、それに応じた工夫をすることが重要と学ぶ機会にもなりました。

また県内で感染者が発生している時期には、保健師は公衆衛生の専門家であり、感染予防対策について危機管理担当の総務課や教育委員会などからの問い合わせも多く、保健所と連携を図り対応してきました。6月になってやっと各事業が動きかけていますが、引き続き感染防止対策を講じる上で会場の準備や実施方法など従前通りとはいかないことも多いですが、発想の転換や工夫を凝らして、今後も感染者が発生しないように、効果的な保健事業ができるように取り組んでいきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症軽症者宿泊療養施設での看護を体験して

滋賀医科大学脳神経外科学講座 脳卒中データセンター 技術補佐員 吉岡 飛鳥

上司から新型コロナウイルス感染症軽症者宿泊療養施設での活動を紹介され、臨床を離れ十数年の私でも何かできればと思い参加しました。臨床が逼迫し十分な準備・人材も整わない中、県内DMATにも支援をいただきながらの開所となりました。

宿泊療養者とは感染防御のため直接対面はせず、電話やLINEを通して症状の報告を受けます。

表情も見えない中でどんなニーズがあり、どう応えることができるのか試行錯誤の毎日でした。身体的には軽症ですが、隔離環境による精神面への負担は計り知れず難しさを感じました。そんな中、寄贈された品などに医療班からメッセージをつけてお渡しすると感謝のお言葉をいただくことがあり私たちの活動の中で大きな力となりました。

招集された県職員が事務と療養支援を担い、看護協会から看護師も増員され、急遽で集まったメンバーでしたが、ひとつひとつの課題に必ず協議し、一丸となり対応できたこと、大きなトラブルなく閉所を迎えられたことはとても大きな成果だったと思います。

今回の活動において、準備段階から一時閉所に至るまで多方面からたくさんのご支援をいただきました。心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

令和2年度 役員・委員・地区支部役員

※敬称略

滋賀県看護協会 役員

会長	看	廣原　惠子	滋賀県看護協会
副会長	保	小川　薫子	草津市役所
副会長	助	初田　聡美	市立大津市民病院
副会長	看	呉竹　礼子	坂田青成苑
常務理事	看	松波　典代	滋賀県看護協会
常務理事	看	西井美恵子	滋賀県看護協会
専務理事	保	草野とし子	滋賀県看護協会
職能理事	保	明石　圭子	長浜市健康福祉部健康企画課
職能理事	助	溝口　浩子	済生会滋賀県病院
職能理事	看Ⅰ	小森久美子	市立野洲病院
職能理事	看Ⅱ	谷口　佳栄	高齢者総合福祉施設桐生園
第一地区理事	看	山元ふみ子	独立行政法人 地域医療機能推進機構滋賀病院
第二地区理事	看	吉村　薫	済生会守山市民病院
第三地区理事	看	岡　和美	公立甲賀病院
第四地区理事	看	日永菜穂子	湖東記念病院
第五地区理事	看	加藤　郁	公益財団法人豊郷病院
第六地区理事	看	弓削　悦子	市立長浜病院
第七地区理事	看	末武　美里	高島市民病院
准看護師理事	准	藤本　真美	琵琶湖大橋病院
監事	助	井下　照代	個人
監事	保	辻橋　幹恵	個人
監事	(保・助・看・准看以外)	川村　貞雄	個人

職能委員会

保健師職能委員	委員長	明石　圭子	長浜市役所
	保	飯田真理恵	大津市 健康推進課
	保	有村　祐亮	草津保健所
	保	西村　尚子	甲賀健康福祉事務所
	保	仲野美根子	近江八幡市
	保	平松　祐子	豊郷町
	保	足立　茜	長浜保健所
	保	高木久美子	高島保健所
助産師職能委員	委員長	溝口　浩子	済生会滋賀県病院
	助	西村　里江	大津赤十字病院
	助	平本　留見	滋賀医科大学医学部附属病院
	助	岡田　幸栄	近江八幡市立総合医療センター
	助	中村美由紀	聖泉大学（看護学部）
	助	押谷　優子	長浜赤十字病院
	助	宮﨑真由美	高島市民病院
看護師職能Ⅰ委員	委員長	小森久美子	野洲病院
	看	馬場一二三	大津赤十字志賀病院
	看	十川　初音	滋賀県立総合病院
	看	山下　鳴美	公立甲賀病院
	看	中島　利恵	東近江総合医療センター
	看	大道　律子	友仁山崎病院
	看	中村　春美	市立長浜病院
	看	前田紀久子	マキノ病院
看護師職能Ⅱ委員	委員長	谷口　佳栄	高齢者総合福祉施設桐生園
	看	田中　好子	うさぎナースケア
	看	平井里津子	特別養護老人ホーム淡海荘
	看	木林　智子	ケアセンターこうせい
	看	向　美保	友愛の家ヴォーリズ
	看	小林美紗子	訪問看護ステーション すずらん
	看	水上　幸子	地域包括ケアセンターいぶき
	看	野上由加里	高島市訪問看護ステーション

常任委員会

教育委員会	委員長	看	三﨑美佐子	済生会滋賀県病院
		看	河田　優子	滋賀医科大学医学部附属病院
		看	西村　由香	市立大津市民病院
		看	豊坂　京子	南草津病院
		看	辻　幸江	湖南病院
		看	村井　紀子	国立病院機構紫香楽病院
		看	高野真由美	神崎中央病院
		看	吉永　典子	近江八幡市立総合医療センター
		看	川口　恵子	豊郷病院
		保	馬場　文	滋賀県立大学
		助	岸本　尚子	市立長浜病院
		看	村中千栄子	長浜赤十字病院
認定看護管理者教育運営委員会	委員長	看	西村　路子	滋賀医科大学医学部附属病院
		看	東　美香	滋賀県立小児保健医療センター
		助	木村　知子	聖泉大学
		看	力石　泉	豊郷病院
		看	松田　和子	市立長浜病院 患者総合支援センター地域医療連携室
看護学会委員会	委員長	看	木村　里美	済生会滋賀県病院
		看	松原　栄子	地域医療機能推進機構滋賀病院
		看	藤野　裕子	滋賀県立精神医療センター
		看	與那城隆幸	水口病院
		看	鈴木　美佐	聖泉大学
		看	生田　寛里	滋賀県立大学
		看	澤井奈奈江	高島市民病院
看護活動推進委員会	委員長	看	神　千草子	ヴォーリズ記念病院
		看	寺田　麻子	市立大津市民病院
		看	饗庭　玲子	琵琶湖大橋病院
		看	山本　有美	滋賀県立小児保健医療センター
		看	金谷由美子	公立甲賀病院
		保	西川　純子	彦根保健所
		看	田附　容子	市立長浜病院
労働環境改善委員会	委員長	看	北林　栄	公立甲賀病院
		看	山本美津江	地域医療機能推進機構滋賀病院
		看	吉田　千春	滋賀県立総合病院
		看	堀田　文美	近江温泉病院
		看	大竹　順子	友仁山崎病院
		看	脇坂　直隆	セフィロト病院
		看	伊藤　雅子	市立長浜病院
広報委員会	委員長	看	松井あゆみ	大津赤十字病院
		看	中村　牧子	大津赤十字志賀病院
		看	今荘　雅也	滋賀里病院
		看	小野　美雪	草津総合病院
		保	濱野さおり	湖南市役所
		看	西塚知恵美	医療法人敬愛会 東近江敬愛病院
		看	田切　毅	今津病院
災害看護推進委員会	委員長	看	中川　征子	滋賀医科大学医学部附属病院
		看	西井　健博	済生会守山市民病院
		看	小野真由美	公立甲賀病院
		看	山本　晃子	湖東記念病院
		看	堂野いずみ	友仁山崎病院
		看	脇坂真由美	長浜赤十字病院
		看	土肥志のぶ	高島市民病院
医療安全推進委員会	委員長	看	中井喜代美	滋賀県立小児保健医療センター
		看	比嘉絵里香	琵琶湖中央病院
		看	濱田志保里	南草津病院
		看	酒井　和美	公立甲賀病院
		看	奥野かおる	近江八幡市立総合医療センター
		看	佐伯　公亮	彦根市立病院
		看	田渕　直拳	セフィロト病院

その他委員会

推薦委員会	助	高橋　真弓	大津赤十字病院
	保	髙谷　有理	草津市役所
	看	奥田　弘美	紫香楽病院
	看	西田　和美	日野記念病院
	助	茂森　周美	彦根市立病院
	看	矢守　聡美	長浜市立湖北病院
	看	生駒　晶子	高島市民病院
選挙管理委員会	看	松田　竜也	滋賀里病院
	看	井上　弥生	滋賀県済生会看護専門学校
	看	澤　友美	甲南病院
	看	合原　由家	近江温泉病院
	看	小倉由希子	友仁山崎病院
	看	森中かおり	市立長浜病院
	看	小野　優子	今津病院

令和3年度 日本看護協会通常総会 代議員

小川　薫子	保	草津市役所
溝口　浩子	助	済生会滋賀県病院
呉竹　礼子	看	特別養護老人ホーム坂田青成苑
山元ふみ子	看	独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院
岡　和美	看	公立甲賀病院
加藤　郁	看	公益財団法人豊郷病院
末武　美里	看	高島市民病院
西井美恵子	看	滋賀県看護協会
藤本　真美	准	琵琶湖大橋病院

令和3年度 日本看護協会通常総会 予備代議員

草野とし子	保	滋賀県看護協会
明石　圭子	保	長浜市役所
初田　聡美	助	市立大津市民病院
小森久美子	看	市立野洲病院
大塚喜久江	看	滋賀県立看護専門学校
脇坂　直隆	看	セフィロト病院
岩本　綾子	看	ヴォーリズ記念病院
谷口　佳栄	看	高齢者総合福祉施設桐生園
木村みゆき	准	南草津病院

地区支部役員

第1支部	支部長	山元ふみ子	JHCO滋賀病院
	副支部長	望月美記代	滋賀医科大学医学部付属病院
	書記	広谷　香菜	琵琶湖養育院病院
	広報	井上　杉美	大津赤十字志賀病院
	会計	山元　莉恵	大津市保健所
第2支部	支部長	吉村　薫	済生会守山市民病院
	副支部長	平野まゆみ	滋賀県総合保健専門学校
	書記	山口　美翔	医療法人真心会南草津野村病院
	広報	山田　京子	びわこ学園医療福祉センター草津
	会計	石原　仁	済生会訪問看護ステーション
第3支部	支部長	岡　和美	甲賀病院
	副支部長	佐々木眞由美	信楽中央病院
	書記	大江千賀子	甲賀保健所
	広報	丸尾まち子	生田病院
	会計	奥村砂智子	甲西リハビリ病院
第4支部	支部長	日永菜穂子	湖東記念病院
	副支部長	奥村　茂	青葉病院
	書記	新牛込　香	神崎中央病院
	広報	畑　智美	東近江敬愛病院
	会計	中谷麻美子	東近江市立能登川病院
第5支部	支部長	加藤　郁	豊郷病院
	副支部長	森口　朋子	彦根市立病院
	書記	高田美由佳	彦根保健所
	広報	戸田　恵	友仁山崎病院
	会計	中野　浩延	彦根中央病院
第6支部	支部長	弓削　悦子	市立長浜病院
	副支部長	前田　聡	長浜赤十字病院
	書記	田辺　英美	米原市役所
	広報	佃　樹美子	長浜市立湖北病院
	会計	赤井　明美	市立長浜病院
第7支部	支部長	末武　美里	高島市民病院
	副支部長/書記	中村　真弓	高島市民病院
	広報	池田　優子	老人保健施設陽光の里
	会計	中村　美幸	高島市役所

一年間よろしくお願いします。

受賞おめでとうございます

※所属は推薦当時

日本看護協会名誉会員…**藤井　淑子**（個人）

日本看護協会長表彰……**西井美恵子**（滋賀県看護協会）
小林　寿子（東近江健康福祉事務所〈東近江保健所〉）

看護功績章……**宮本美佐江**（看護師／淡海かいつぶりセンター）
呉竹　礼子（看護師／長浜赤十字病院）
西村　宏美（看護師／琵琶湖大橋病院）
小川　薫子（保健師／草津市）

看護功労者知事表彰……**平井　初美**（保健師／特定非営利活動法人ふれあいセンターそよ風）
三矢　早美（保健師／滋賀県難病相談・支援センター）
古川　悦子（保健師／長浜市役所）
大橋　美香（助産師／栗東市）
初田　聡美（助産師／市立大津市民病院）
寺村　幸子（看護師／元生田病院）
岡田　幸子（看護師／ヴォーリズ記念病院）
村中千栄子（看護師／長浜赤十字病院）

日本看護協会名誉会員に承認

藤井 淑子 氏
（80歳）

令和2年日本看護協会通常総会において、名誉会員に承認され、本年度推薦のあった18名のおひとりとして受賞されました。

藤井淑子氏は、昭和39年4月より大津赤十字病院や看護専門学校にて、長きにわたって看護業務や看護管理・看護師基礎教育等に尽力され、その後、看護協会の会長として滋賀県の看護職のリーダーとして協会活動の活性化に活躍される等ご功績は多大です。

ご功績内容の詳細は日本看護協会通常総会の要綱をご参照いただきますようお願いします。

Voice ―― これからの看護職に期待すること

大津赤十字志賀病院
管理栄養士・湖西糖友会
伊東 美希 氏

栄養管理では、患者さまをはじめ、ご家族との情報共有や意思疎通が重要なため、できる限り病棟へ足を運び聞き取りを行います。しかし、それだけでは気付かないこともあり、最も近くで患者さまと接している看護師の存在は心強く、いつも頼りにしています。低栄養に陥らないよう、看護師と意見を交換しながら食事を調整し、摂取量が上がったときや嗜好に合うものを提供できたときには、喜びが倍増します。

以前、HbA1c12.6%で入院された糖尿病の患者さまがいらっしゃいました。栄養相談で聞き取ったところ、朝食を摂らない習慣が問題でした。しかし、退院後の栄養相談では、「朝ごはんも食べているねん。〇〇さんに、それだけは絶対してくださいってお願いされたしな。」とおっしゃいました。入院中に言われた看護師からの言葉によって、３食の習慣を退院後も継続されるようになり、現在もHbA1c7.0%程度を維持することができています。

食事療法で、最も大切なことは「続けていくこと」です。入院中の食事をしっかりとサポートしていくこと、栄養相談に来ていただくことなどが重要です。これからも職種間で連携し、患者さまにとって、より良いサポートができる関係性を構築していければと思います。

しが版

「忘れられない看護エピソード」を募集します！

看護師さんに背中をさすってもらったあの手のぬくもり…

あの出来事があったからやっぱり看護がやめられない！

あの患者さんに出会って看護への思いが変わったなぁ…

今年は「ナイチンゲール生誕200年」
「看護師・助産師国際年」「看護の日制定30周年」を記念して、
しが版「忘れられない看護エピソード」を募集します。

- **一 般 部 門：患者さん、利用者さんやそのご家族の方で看護をうけて心に残ったこと など**
- **看護職部門：さまざまな分野で看護を実践している現役看護職、または今までに看護に携わってくださった看護職の方で心に残ったエピソード など**

応募方法	専用フォーム（滋賀県看護協会ホームページで公開）を使用の上、郵送またはメールにて送付してください（800字程度）
賞について	応募作品の各部門から、最優秀賞・優秀賞・入選を決定し、12月９日㈬ 開催の「Nursing Now 記念シンポジウム」開会式で表彰式を実施予定
応募締切	**2020年８月31日㈪**
審査について	滋賀県文学関係者、県健康医療福祉関係者、看護協会関係者 など
お問い合わせ先	**公益社団法人 滋賀県看護協会　担当：教育部** 〒525-0032 草津市大路二丁目11番51号　TEL. 077-564-6699／FAX. 077-562-8998 E-mail：s-kyoiku@herb.ocn.ne.jp

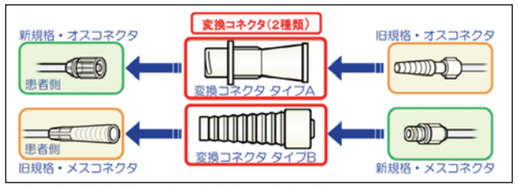
医療安全通信

医療安全推進委員会 vol.39

誤接続防止コネクタについて（経腸栄養分野）

ベッドサイドで起こりうるコネクタの誤接続を防止するため、下図の分野においてコネクタの国際規格ISO80369シリーズが制定されました。ここでは、新規格製品と既存規格製品の違いについて説明しています。

◆みなさんの職場での移行状況を確認し、正しく使用していきましょう。



※経腸栄養分野の現行規格品の供給は2021年11月末に終了します。

1. 既存規格製品と新規格製品は相互に接続ができない構造です。製品間で接続ができないことで、治療などに不都合が生じる可能性があります。
2. 経管栄養や胃ろうチューブを介した与薬などが必要な患者の看護をしている施設では、製品の切替えが必要となります。
3. 必要な治療などが継続できるように既存規格製品と新規格製品を接続するためのコネクタ準備などの対応が求められます。

❶Aさんもうすぐ退院だけど、自宅で栄養チューブはどのような物を使用されているのかしら？

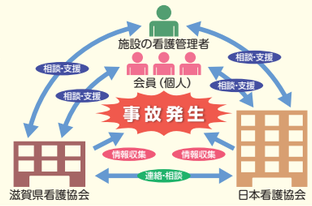
❷え？ 確認していません。病院と同じだと思うんですけど…

❸経腸栄養のチューブが変わったので、在宅でも同じかどうか確認が必要ね。

❹訪問看護師の方にも情報提供が必要ですね。接続のコネクタが必要な場合も確認しておきます。

医療安全相談窓口

- **受付時間：**９時30分～16時（平日のみ）
- **場　　所：**滋賀県看護研修センター内 TEL.077-564-6468 / FAX.077-562-8998
- **担　　当：**看護協会長・常務理事・医療安全推進委員（適宜）
- **方　　法：**電話相談・来訪相談・FAX相談



職能委員会 活動報告

保健師職能委員会

委員長　小林 寿子

保健師職能委員会では、令和元年度の活動方針を「保健師キャリアラダーを学び、地域に責任をもつ保健師を目指そう」とし、「滋賀県保健師人材育成指針」の周知を図るとともに保健師の職能意識の向上と資質の向上を図るため、保健師職能集会やラダーに応じた研修等を実施しました。

12月に開催した保健師職能集会においては、「保健師キャリアラダーが目指す保健師活動」について、武蔵野大学大学院　教授　中板育美先生の講演をお聞きし、グループワークにおいて「滋賀県保健師人材育成指針」の各所属における活用について情報交換を行いました。

「保健師の職能、役割とは何か？」様々な分野で働く私たちだからこそ、このテーマを共に語り合い、情報交換し、学べる場が必要です。職能集会はその大切な場となっていると感じています。

公衆衛生看護の専門職である保健師に求められる役割は、多岐にわたります。全世代型の地域包括ケアシステムの構築や新型コロナウイルス感染症等への対応等、日々新たな課題に対応していくため、保健師同士のネットワークにとどまらず、看護協会を基盤にした看護職のネットワークも大切にし、ともにがんばりましょう！

令和元年度 保健師職能集会（令和元年12月14日㈯）

ナースセンターだより

受講生の声 Vol.8

研修を受け、10年ぶりの就職に向けて大きな一歩を踏み出しました!!

S.Tさん

私は、母に憧れて看護師になりました。専門学校を卒業後、県内の小児専門病院へ就職し、1年4か月勤務しました。出産・育児のために退職し、４人の子どもの子育てに専念しました。私自身、出産時に生死を彷徨う出血性ショックを起こし、多くの医療従事者の方々に命を助けていただきました。患者を経験した中で、看護師さんの存在の大きさに改めて気づくことができました。10年以上ブランクがありましたが、もう一度看護師として人の役に立ちたいと思い、重い腰を上げ、リスタートナースサポート研修に参加しました。半年後には訪問看護師として就職が決まっていたので、少しでも知識や技術をつけ、復職への不安を軽減したいと思い、臨みました。

研修中は、今現場で働いておられる講師の方々の言葉が新鮮で、知らない知識や技術もたくさんありました。10年ぶりに握る注射はとても怖かったですが、初心に戻って時間を忘れるぐらい夢中に練習しました。また、在宅で行う看護の話が多く、自分自身で体験しながら学ばせていただけたので療養者さんの気持ちに寄り添った看護を行うイメージを持つことができました。同じ思いの仲間18人で悩みを相談しながら前向きに復職について考える素敵な機会でした。

4月から復職します。この研修を生かしながら、楽しんで訪問看護師として頑張っていきたいと思います。正直、10年のブランクは不安でいっぱいですが、看護師として働ける喜び、看護の勉強ができる嬉しさを感じながら、前向きに一歩一歩踏み出していきたいと思います。

新型コロナウイルス感染拡大における就業支援について

滋賀県内において4月後半に新型コロナウイルス感染症患者が急増し、宿泊施設応援ナースとして働いてくださる方をお願いするため、約730名のナースバンク登録者にメールを送りました。約30名の方からお問合せをいただき、その中の５名が宿泊施設応援ナースとして採用され、先に勤務されていた方々と共に軽症者の看護を担当されました。お問合せいただいた皆様、ありがとうございました。

今後も、第２波が起こる可能性が充分考えられます。宿泊施設応援ナース募集の際には、また、ご連絡させていただきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

滋賀県内病院･介護施設･訪問看護ステーションにおける 60歳以上看護職員就業状況調査

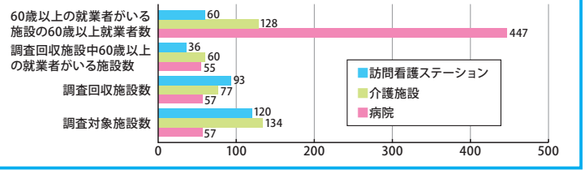
■表1／県内60歳以上看護職就業状況　　2020年4月1日現在調査

施設数＼年齢	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	77	78	79	80	合計
病院　(57)	79	81	52	48	39	30	30	20	14	10	7	9	11	3	5	3	2	1		3	447
介護施設(77)	16	12	17	10	10	13	10	8	6	6	9	4	1	2		1		1	1	1	128
訪問看護(93)	5	4	11	9	3	4	5	6	4	2	2		4							1	60
合計　(227)	100	97	80	67	52	47	45	34	24	18	18	13	16	5	5	4	2	2	1	5	635

昨年度に引き続き、キャリアを活かして働くプラチナナースが、県内において、何名就業されているのかを調査しました。調査結果から、227の施設で635名が、定年後もキャリアを活かして働いておられました。表1・図1は、調査結果の一部です。他のデータは次の機会に報告します。

※年度初めのお忙しい時期に調査にご協力いただいた、管理者の皆様に感謝いたします。

■図1／滋賀県内病院・介護施設・訪問看護STにおける60歳以上就業者数



『eナースセンター』が新しくなりました。

4月からリニューアルし、さわやかなトップ画面になっています。

地図上での求人検索や、複数の都道府県・市町を選択して求人検索ができます。また求人登録内容も項目が追加になり、より詳しい求人条件が選択可能です。

すでに登録されている方も、まだこれからの方も、一度画面を開けてみてくださいね。ログインできない方は、滋賀県ナースセンターまでお問合せください。

こころのサポート

今年度は5月から、研修センター及び、彦根くすのきセンターで開催しています。職場や学校での悩みはもちろん、新型肺炎コロナウイルスに関する悩みも相談していただけます。

専門家に話を聞いてもらうだけでも大丈夫です。どんな小さなことでも一人で悩まずに口に出してみてはいかがでしょうか。

お気軽にお問合せください。お電話お待ちしております。

滋賀県ナースセンター　☎077 - 564 - 9494

ナースセンターからのお願い

滋賀県ナースセンターでは、新型コロナウイルス感染防止のため、お仕事相談やこころの相談で来所された方に、相談に入る前に検温や、簡単な問診票をお願いしています。また彦根くすのきセンターに来所の際は、ご自宅で検温してくださるようお願いします。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

SHIGA! はたさぽ通信

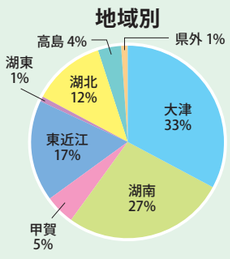
就業コーディネーター｜乾 悦子

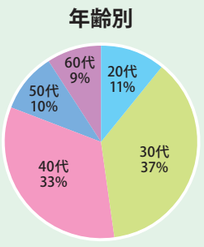
みなさん、こんにちは。新型ウイルス感染症の対応で、お忙しい毎日をお過ごしのことと思います。どうぞご自愛くださいませ。滋賀県ナースセンターでは、彦根サテライトや県内８か所の出張相談窓口でも就業支援を行っています。お気軽にご利用ください。また、４月から高島地区の出張相談窓口の日程が変更されましたので、お知らせします。

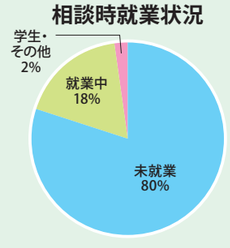
高島健康福祉事務所／毎月第２・第４木曜日 10時～13時

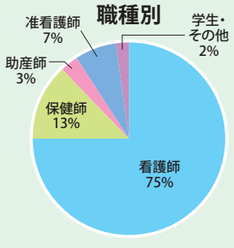
なお、各窓口も祝日等で一部変更している月もありますので、ホームページを参照ください。

今回は、2019年度の出張相談窓口利用状況をお伝えします。（2019年４月～2020年３月）









お問合せ先
●滋賀県ナースセンター　TEL.077-564-9494 ／ FAX.077-562-8998
●彦根サテライト　TEL.0749-30-1235 ／ FAX.0749-30-1233
●E-mail：shiga@nurse-center.net

詳細はホームページをご覧ください